

人形のわたや限定 完全オリジナル商品・木目込み人形 久月 ほのかシリーズ

ひな人形・五月人形・鯉のぼり・鏡兜
 (一社)日本形協会加盟店
わたや
 WA-TA-YA

希雛 [親王飾り]



木目込み人形/ほのかシリーズ (新井久夫作)
 サイズ：間口50×奥行30×高さ26(cm)

虹彩雛 [五人飾り]



木目込み人形/ほのかシリーズ (新井久夫作)
 サイズ：間口50×奥行32×高さ45(cm)

木目込み人形とは?

胡粉で出来た桐体に筋目を付けて衣装となる生地を埋め込んで作る人形です。その歴史は古く、元文年間(1736年ころ)京都で発祥し、その後江戸に伝わり江戸庶民の文化と融合して盛んとなり、現代までその技法が伝授されています。



陽奈雛 [五人飾り]



木目込み人形/ほのかシリーズ (木村 綾作)
 サイズ：間口60×奥行40×高さ55(cm)

煌春雛 [五人飾り]



木目込み人形/ほのかシリーズ (真多呂作)
 サイズ：間口50×奥行35×高さ50(cm)

千春雛 [五人飾り]



木目込み人形/ほのかシリーズ (木村 綾作)
 サイズ：間口50×奥行30×高さ45(cm)

流麗雛 [親王飾り]



木目込み人形/ほのかシリーズ (木村 綾作)
 サイズ：間口60×奥行38×高さ50(cm)

彩音 [親王飾り]



木目込み人形/ほのかシリーズ (木村 綾作)
 サイズ：間口50×奥行28×高さ45(cm)

美咲雛 [立親王飾り]



木目込み人形/ほのかシリーズ (新井久夫作)
 サイズ：間口40×奥行30×高さ31(cm)

匠の舌工



木目込
 経済産業大臣指定
 伝統的工芸品
 江戸木目込人形
 伝統工芸士
真多呂
 (本名 金林作郎)

幼年より人形制作に親しみ、日本の伝統芸術に惹かれ父初代真多呂より手解きを受ける。大学卒業後、日本芸術院会員の故 澤田政廣氏にデッサンを学び、真多呂人形の昇華に研鑽を積む。昭和53年産産大臣指定江戸木目込人形の伝統工芸士に認定される。平安朝風俗人形をはじめ、今日に至るまで制作木目込人形を数多く発表している。



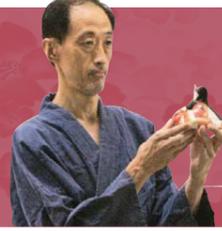
木目込
 木目込人形師
木村 綾

伝統工芸士である祖父(初代一秀 木村辨之助)と母(二世一秀 木村安子)に見守られ、幼少期より江戸木目込人形の伝統に親しむ。平成9年株式会社一秀に入社。その後、母安子に師事し、本格的な人形作りにも携わるようになる。女性らしい優しく繊細な目線と鋭い現代感覚を織り交せた、優美であたらしい作風が高い評価を得ている。



原作
杉田明十志

1967年静岡県浜松市生まれ。1990年多摩美術大学卒業。88年末より独学で人形制作。個展、グループ展への出展多数。2001年末より、伝統人形の原形制作を始める。マリオンネットの制作は2001年より。2005年、杉田明十志に改名。



木目込
 経済産業大臣指定
 伝統的工芸品
 江戸木目込人形
 伝統工芸士
新井久夫
 (本名 新井久夫)

新井義男の長男として生まれ、人形のまち岩槻で育つ。最初に人形を制作したのは小学生の頃、昭和56年、人形問屋に入社し、人形全般について学ぶ。平成8年、当時最年少で江戸木目込人形の伝統工芸士に認定される。平成19年、関東伝統工芸士会長賞受賞。平成22年、経済産業省関東経済産業局長賞受賞など、数多くの賞を受賞している。